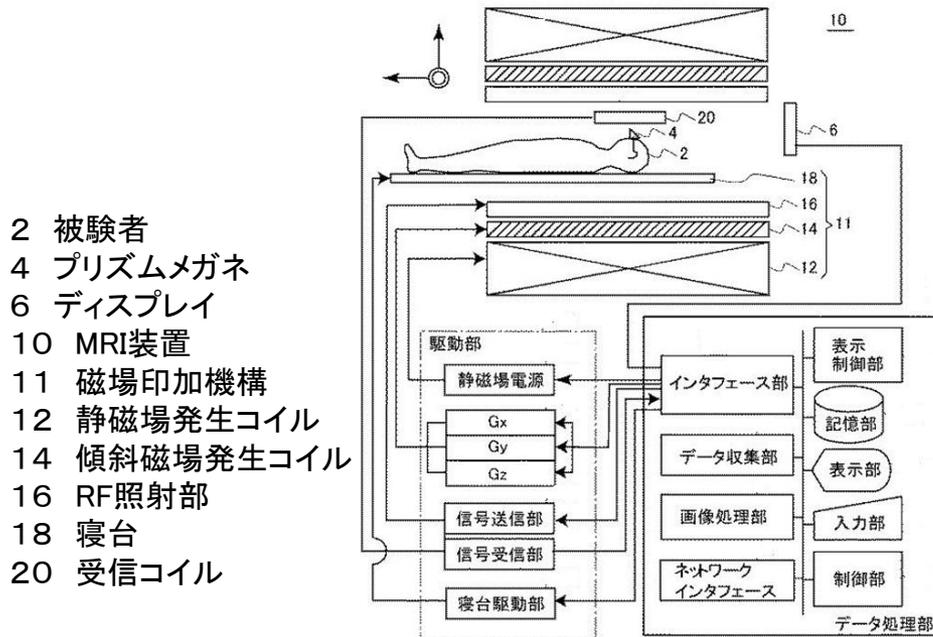


発明の名称	脳活動解析システム及び方法		
出願人/権利人	株式会社国際電気通信基礎技術研究所	発明者	森本 淳、川人 光男、八幡 憲明、橋本 龍一郎、柴田 和久 渡邊 武郎、佐々木 由香、加藤 進昌、笠井 清登
出願日	平成30年5月9日	出願番号	2018-090290
公開番号	2018-118144	特許番号	6497687
法的状態	登録中		

## 代表図



## 発明の概要

脳機能画像法を用いた脳活動解析装置、  
脳活動解析方法およびバイオマーカー装置

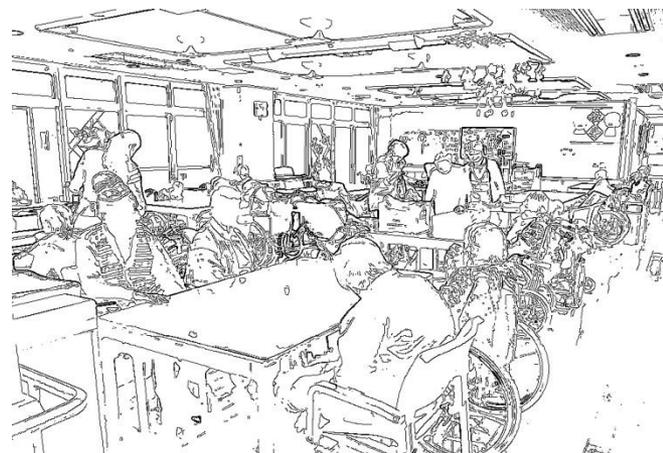
## 特徴

本発明における脳活動解析装置の判別器生成手段は、複数の被験者の脳内複数領域における脳活動を示す信号を脳活動検知装置により時系列で予め測定した信号から判別器を生成する。判別器生成手段は、複数の所定領域における脳活動の相関関係のうち、少なくとも複数の被験者の属性について共通する縮約表現を抽出し、抽出された縮約表現に対して、被験者の特定属性に対する判別器を生成する。また、判別器を特定するための情報を記憶する記憶手段と、記憶された情報により特定される判別器に基づいて、入力データに対して判別処理を行う判別手段を備える。

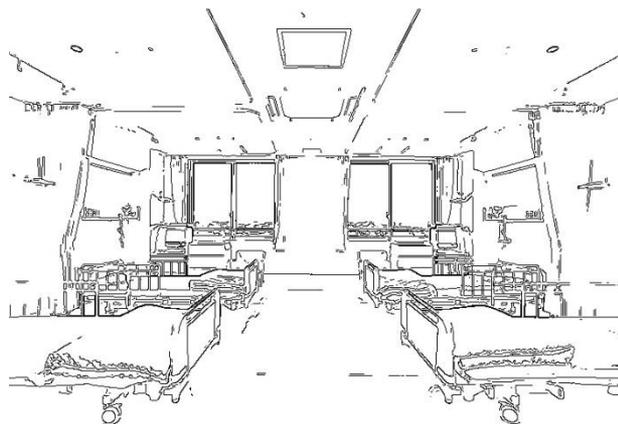
# 応用の可能性



大学医学部



介護施設、老人ホーム



病院



クリニック

など

## 応用の可能性

- ・大学医学部
- ・病院
- ・介護施設、老人ホーム
- ・クリニック
- など

## 本技術の活用が見込める企業の一例

- ・大学医学部
- ・北野病院
- ・加納総合病院
- ・大阪脳神経外科病院
- ・あづま脳神経外科リハビリクリニック
- ・福島脳外科クリニック
- など

## 株式会社国際電気通信基礎技術研究所の本発明に関する最新動向

- ・株式会社国際電気通信基礎技術研究所のホームページ(<https://www.atr.jp/index.html>)には、本件特許に関連する動向情報は見受けられない。